●渋滞対策の推進

アウトカム指標：①渋滞損失時間

快適で円滑な交通を確保する道路整備を示す指標

27時間/人(1日以上の渋滞損失)

全国27位　（中国地方3位）

山口県の現状と課題

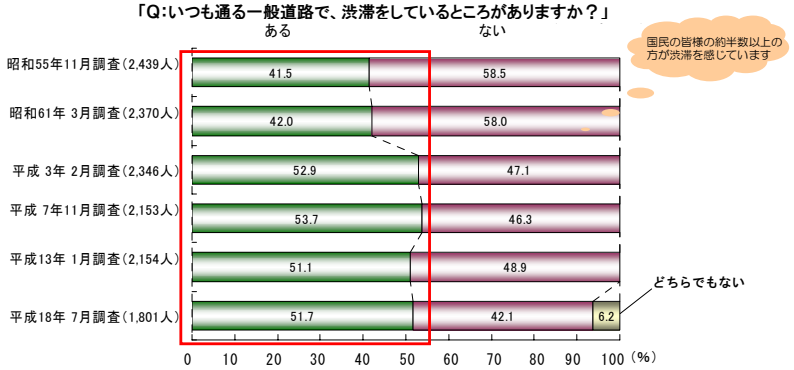
利用者の意識

交通渋滞への意識

▶ **国民の皆様は渋滞を感じています**

●国民世論調査によると、国民の皆様の約半数以上が渋滞を感じており、継続的な対策が求められています。

道路に関する世論調査　より



平成18年7月　内閣府「道路に関する世論調査」

現状の分析

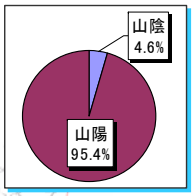
渋滞発生状況

▶ **山陽側の都市部で渋滞が多く発生しています**

●山陽側の都市部とその周辺地域で交通渋滞が慢性化しており、市民生活や生産活動に深刻な影響を与えています。

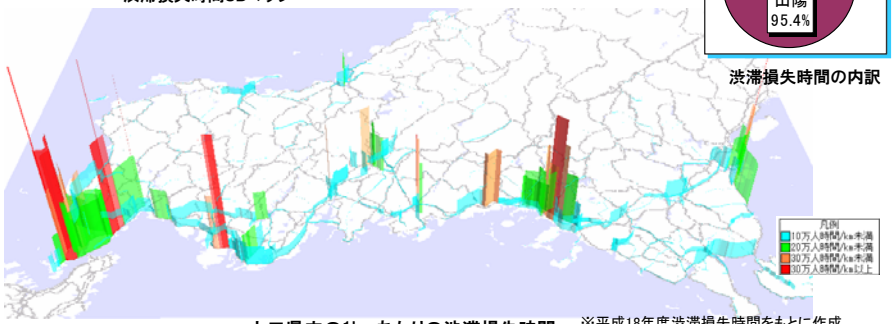
●渋滞損失時間の約95%以上が山陽側で発生しており、山陰側でも萩市、長門市付近で渋滞が発生しています。

●渋滞による損失時間は年間約4.1千万人時間で、これは山口県民の皆様一人あたり年間約27時間の損失にも上り、経済効率、環境問題の低下等を引き起こしています。



渋滞損失時間の内訳

渋滞損失時間3Dマップ



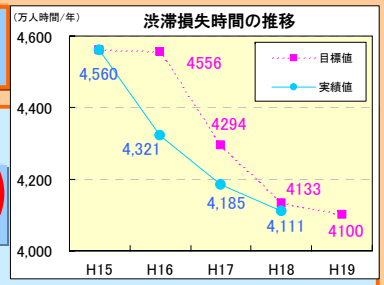
山口県内の1kmあたりの渋滞損失時間

※平成18年度渋滞損失時間をもとに作成
※一般県道以上を対象

●　平成18年度　達成度報告

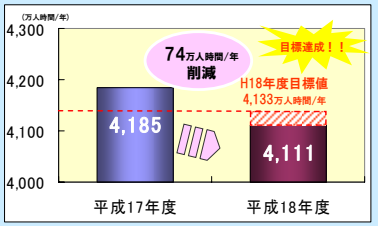
平成18年度の目標達成状況

平成18年度　目標値 4,133万人時間/年 ▶ **平成18年度　実績値** 4,111万人時間/年　目標達成

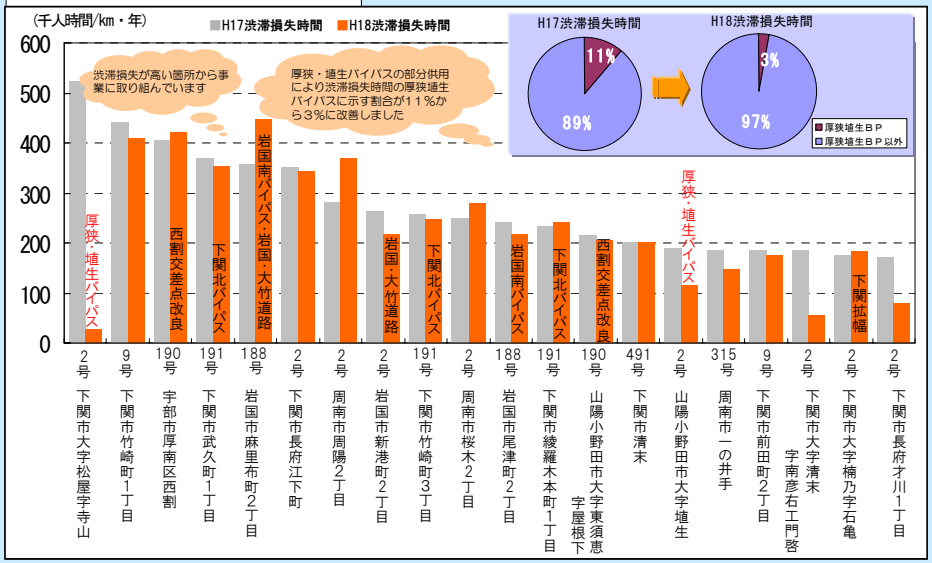


●平成１８年度の渋滞損失時間の目標値は、平成17年度実績値（4,185万人時間/年）から52万人時間/年の削減を目指し、4.133 万人時間/年と設定しました。

●平成18年度の渋滞損失時間の実績値は、平成17年度実績値（4,185万人時間/年）から74万人時間/年削減（事業進捗等により渋滞解消区間や渋滞悪化区間を総合し渋滞損失時間を削減）され4,111万人時間/年となり目標を達成しました。



1kmあたり渋滞損失時間の経年比較



H18年度　渋滞解消に寄与した主な事業

事業主体	事業名称	供用延長	供用年次	関連する主要渋滞ポイント	紹介ページ
国土交通省	一般国道2号 厚狭・埴生バイパス	部分供用　2.7km（暫定2車線）	H18.7	・上市交差点 ・埴生西糸根交差点 ・前場交差点	P9
山口県	一般国道262号萩バイパス	部分供用　1.2km（4車線）	H19.3	－	P10
	萩川上線	部分供用　0.7km（2車線）	H18.10		
	一般国道490号宇部拡幅	部分供用　1.0km（4車線）	H18.4	・北迫交差点	

地域の自活を支えるみちづくり（①渋滞損失時間）